

報道関係者各位

佐賀県 武雄市役所

『武雄市気候変動対応モデル都市構想』 を策定しました

本市を流下する六角川は、令和元年8月および令和3年8月に発生した洪水で、内水氾濫により、多くの住民が孤立するとともに、甚大な社会経済被害が発生しました。

このため六角川においては、令和5年3月に特定都市河川の指定を受け、河川流域のあらゆる関係者が協働して行う総合的な浸水被害対策を定めた「六角川流域水害対策計画」を策定しました。

この計画では水災害に強いまちづくりを目指し、関係者が一体となって流域治水を本格的に実践し、流域の早期かつ確実な治水安全度の向上を図ることとなりました。

本構想は、「六角川流域水害対策計画」と連携しながら、同計画の中で「重点整備地区」に位置づけられた「朝日地区・北方地区・橋地区」における各種治水対策と将来のまちの姿（まちづくりの方向性）を示すものです。

つきましては、この構想を説明させていただきたく、下記により記者会見を実施しますので、報道機関の皆様におかれましては、ぜひご取材いただきますようお願いいたします。

記

○日 時：令和7年5月26日（月）記者会見後

○場 所：4F会議室

○内 容：武雄市気候変動対応モデル都市構想について

— 本件に関するお問い合わせ先 —

武雄市まちづくり部治水対策課 TEL 0954-27-7097